

フィードバックコメント

事業名：子どもの権利条約を広めるプロジェクト

○評価基準（おおたか）

項目	評価基準
公益性	・ 地域課題への理解 →事業実施を経て地域課題への認識が深まったか
貢献性	・ 地域課題解決の成果 →事業の成果により地域課題がどの程度解決されたか ・ 地域への波及効果 →今後の地域課題解決に結びつくような成果はあったか
実現性	・ 事業の達成度 →当初計画のとおり事業を実施できたか
自立性・継続性	・ 自立努力 →事業の継続に向けて資金調達努力や仲間づくりができたか
効率性	・ 事業収支の妥当性 →予算に基づいて資金運用されたか →支出額は事業の成果に見合っているか
協働性	・ 行政との連携とその度合 →担当課と協働して事業を実施できたか ・ 相互理解の促進 →お互いの特性や課題意識などへの理解が深まったか →今後の事業実施に向けた関係構築ができたか
その他	・ 上記の項目に含まれない内容や事業全体についてのコメントを記載

※採点基準

- 1点…まったく計画どおりに実施できなかった、ほとんど成果がなかった
- 2点…大部分が計画どおりに実施できなかった、成果が十分ではなかった
- 3点…おおよそ計画どおりに実施できた、それなりの成果があった
- 4点…ほぼ計画どおりに実施できた、大きな成果があった
- 5点…計画どおりまたは計画以上に実施できた、他の模範となるほど優れた事業であった

審査結果

項目	各審査委員の採点								平均点
	A	B	C	D	E	F	G	H	
公益性	4	5	4	5	4	5	4		4.43
貢献性	4	5	4	5	4	4	4		4.29
実現性	3	4	4	4	5	4	4		4.00
自立性・継続性	3	4	3	4	3	4	4		3.57
効率性	3	3	4	4	4	4	4		3.71
協働性	4	5	4	4	4	4	4		4.14

委員A

項目	採点	コメント
公益性	4 / 5	2年目を迎え「おとなが変わる」をテーマとし活動に取り組み地域への認識もより深まったと思われる。
貢献性	4 / 5	市議会議員さんらへの働きかけもあり行政機関へのアピールへと繋がり成果として学校での「権利条約の授業」の開始見込みの流れが出来た。
実現性	3 / 5	ファシリテーター養成講座は実施されているが個々の適性を考慮しさらなるスキルアップを目指して欲しい。
自立性・継続性	3 / 5	兎に角、「おとなが変わる」に尽きるとと思われる。継続的且つ地道な団体内の意見交換、講師陣とのベクトル合わせの努力は必要か。
効率性	3 / 5	計画に沿った、より入念な予算執行で収支改善は可能と思われる。
協働性	4 / 5	リポートからも担当課とは一貫して良好な連携が構築されていて、今後の成果に向け、さらにこの関係を続けて欲しい。
その他	次年度のさらなる活動成果を期待しています。	

委員B

項目	採点	コメント
公益性	5 / 5	それぞれのテーマを掲げた3回の講座で、地域課題への認識が深まったと感じた。
貢献性	5 / 5	子どもの権利条約の制定に向け動きが進んだこと、学校での授業が始まることなど、地域課題に貢献したと思う。
実現性	4 / 5	1回目のファシリテーション講座は予定より受講生が多かったが、2、3回目は7～9割の参加率なので概ね達成しているともいえるが、わずかではあるが目標に達していなかった。
自立性・継続性	4 / 5	収益努力まで求めるのは酷だとは思いますが、今回は補助金の範囲内で事業を実施できたよかった。
効率性	3 / 5	3回目の講座で講師の資料が事前に届かなかったため印刷費がオーバーしたとのことであったが、講師の責任ではないのか？ 資料受け取りの打ち合わせはしっかりしてほしい。（講師相手になかなか難しいことかもしれないが）
協働性	5 / 5	子ども家庭課とはしっかり連携していたと思う。
その他	今までは会費と寄附で手弁当での活動を行ってきたということだが、今後も継続して活動するために協賛金などが集まる方策があればいいと思う。3年目の事業とその後の活動にも期待します。	

委員C

項目	採点	コメント
公益性	4 / 5	
貢献性	4 / 5	
実現性	4 / 5	
自立性・継続性	3 / 5	今後の計画が、手弁当に戻るといような発言があったのでやや低くしています。
効率性	4 / 5	

協働性	4 / 5	
その他	市側でもこども計画を策定したばかりであったので、時宜を得た素晴らしい取組であったと思う。令和七年度も成果を期待しています。	

委員D

項目	採点	コメント
公益性	5 / 5	子どもの権利、という我々の地域社会の中で新しい価値観にアプローチする事業として評価しました
貢献性	5 / 5	事業を進める中で少しずつ課題への理解を深め、解決への道筋が見えてきた様子が窺われました
実現性	4 / 5	目的の達成までの道のりは遠いかも知れませんが、事業計画自体については良く実施されていると評価しました
自立性・継続性	4 / 5	
効率性	4 / 5	
協働性	4 / 5	担当課との連携が深まってきた様子です。互いの立場の違いや強みを生かし合いつつ今後も連携して頂ければ。
その他	来年度にも期待しております	

委員E

項目	採点	コメント
公益性	4 / 5	この事業は、子どもの権利についての理解を促進することを目的としており、特に「こども・若者の意見を聴くファシリテーター養成講座」や「こども大綱に関するシンポジウム」を通じて、地域の大人たちが子どもの意見を尊重する重要性を学ぶ機会を提供した。
貢献性	4 / 5	事業を通じて、子どもの権利に関する理解が広まり、条例制定への気運が高まるなど一定の成果が見られた。また、子ども・若者の声を聴く機会を設けたことで、行政の政策形成にも良い影響を与える可能性を生じさせた。

実現性	5 / 5	計画された3つのイベントはすべて実施され、参加者数も目標の約7割～9割を達成しており一定の成果を収めた。特に、専門的な講師を招き、質の高い講座を提供した点は評価できる。
自立性・継続性	3 / 5	事業の内容自体は意義があり、仲間づくりの努力もみられる。しかし、継続に向けた資金調達や組織的な自立の取り組みには懸念が残る。補助金がなくなった場合に、どのように事業を維持していくのか明確にしておく必要があるように思われる。
効率性	4 / 5	資金運用は適切であり、事業成果とのバランスも取れていた。ただし、さらなるコスト削減や資金効率の向上を図ることで、より良い成果が得られる可能性がある。
協働性	4 / 5	市の子ども政策の推進と連携しながら事業を行った点が評価される。この事業が単発の啓発活動に留まらず、市や関係機関とのさらなる協働の枠組みを強化していくことで、より持続的な成果を生み出せるように努力してほしい。
その他	本事業「流山市に子どもの権利条約を広めるプロジェクト」は、子どもの権利に対する地域の意識向上を目的とし、計画に沿った形で着実に実施された。特に、子どもの意見を聴く力を持つ大人を増やすファシリテーター養成講座や、こども・若者の声を聴くシンポジウムなど、具体的なアプローチを通じて地域社会に知識と理解を広めた点は高く評価される。	

委員F

項目	採点	コメント
公益性	5 / 5	子どもの権利は重要な視点であり、子どもの意見を聴いていたシンポジウムなどは評価できると思います。
貢献性	4 / 5	学校で授業が開始されているとのことで確実に広まっていると感じました。
実現性	4 / 5	
自立性・継続性	4 / 5	
効率性	4 / 5	ファシリテーター養成講座の受講者もそのあとのシンポジウムで活動の場があったので良かったと思いました。

協働性	4 / 5	担当課との連携もとれており、こども計画との親和性もあり今後にも期待が持てると思いました。
その他	2年目の事業であり、3年目にもつながる成果も伺えたので今後も継続的な効果ができるように実施していただきたいと期待しています。	

委員G

項目	採点	コメント
公益性	4 / 5	こどもの意見を聴く「ファシリテーション講座」により必要な姿勢を学んでいる。
貢献性	4 / 5	
実現性	4 / 5	当初計画どおり事業を実施できた。
自立性・継続性	4 / 5	ファシリテーション講座は予定数を超える参加となっており関心度が高いと言える。
効率性	4 / 5	予算に基づいて資金運用されている。
協働性	4 / 5	担当課との課題意識への理解を深めた。
その他	「子どもの権利条約を広める」の事業は、なかなか難しいテーマと思いますが、計画どおりに実行できていると思います。令和7年度は（仮称）流山こども計画が施行されることから市と協力して事業を実施してほしい。	

委員H

項目	採点	コメント
公益性	/ 5	
貢献性	/ 5	
実現性	/ 5	

自立性・継続性	/5	
効率性	/5	
協働性	/5	
その他	事業が2年目という事で安定している雰囲気がありました。 7年度も事業が確定しているので、子どもの権利条約の定着に向け頑張 っていただきたいです	

※審査を辞退していましたので、評価は辞退いたします。

審査会に出席をしての感想だけ、その他に記載します。